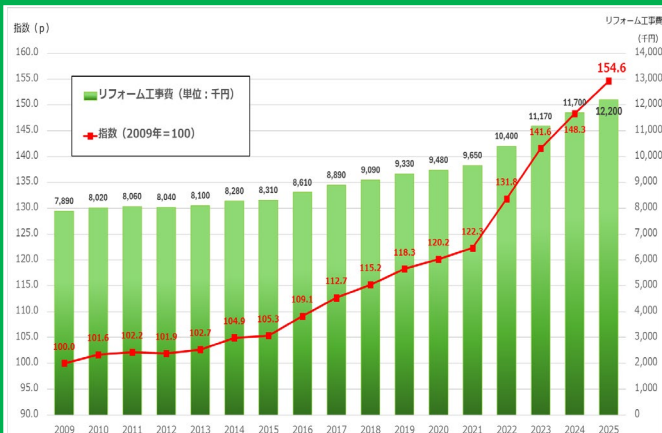


積算資料 **ポケット版** 『リフォーム工事費指数』を新たに公開

～16年間の住宅リフォーム工事費データを指数化、長期メンテナンスコスト予測も同時公開～

一般財団法人経済調査会（本部：東京都港区、理事長：森北佳昭）は、過去16年間の戸建て住宅のリフォーム工事費の推移を指数化した「リフォーム工事費指数」を新たに作成し、当会ホームページ「積算資料ポケット版 WEB」にて3月30日より公開いたしました。本指数は、リフォーム工事費用の動向を定量的に把握できる指標として、不透明になりがちなリフォーム工事費用の見える化・透明性の向上を目的としています。

リフォーム工事費指数：16年間で約1.5倍、2021年以降に上昇基調が一変



【概況】2009年に789万円であったリフォーム工事費は、2021年までの12年間で176万円上昇し、指数(2009年=100)は122.3となった。この間は年平均約1.7%の緩やかな上昇で推移したが、2021年以降は資材価格の高騰を契機に上昇基調が一変。指数は急伸し2023年には141.6に達した。その後、資材価格の高騰は落ち着きを見せたものの、職人不足等を背景とした人件費の上昇は続き、直近でも指数は年平均約6ポイントの高い伸びが継続している。最新の2025年の調査結果では、リフォーム工事費は1,220万円に達し、指数は154.6と過去最高を更新した。

長期メンテナンスコスト予測も公開：物価変動により数千万円規模の差



本指数を基に、木造住宅の30年間のメンテナンスコストを複数の物価変動シナリオにて試算した結果も公開しています。物価変動を考慮しない場合と比較すると、上昇率の違いにより累計コストは数千万円規模の差が生じます。リフォーム工事費は将来に

わたり継続的に発生する費用であり、本指数は長期的な住宅の維持管理コストの把握に有効な指標となります。

ポータルページ『住宅指数ナビ』を新設



本指数の公開にあわせて、「木造住宅建築費指数」「マンション修繕費指数」を集約したポータルページ『住宅指数ナビ』も新設しました。今後は、各指数の更新とともに、住宅工事費の動向把握に資する情報発信を強化していく予定です。

公開 WEB サイト【積算資料ポケット版 WEB】（本日より公開開始）

積算資料 **ポケット版** 『住宅指数ナビ』

<https://www.pocket-ban.com/costindex/>



積算資料 **ポケット版** 『リフォーム工事費指数』

<https://www.pocket-ban.com/costindex/reform>



お問い合わせ先：本資料の詳細や資料の入手をご希望の方は、下記までご連絡ください